

「初冬期」の事故防止 「夜の道 知らせる・見つける ハイビーム」

十勝管内 「一時停止」事故多発 「相手は、停まらないかもしれない」

《薄暮時間帯・夜間の事故防止》

先を読む 見えない危険 潜む事故

- ・薄暮の時間帯は・・・地面が暗く、見落としやすいので、スピードダウン
- ・早めのライト点灯で・・・自車の存在を知らせる
- ・タイヤ交換後・・・増し締めを必ず実施しましょう（特に、左後輪の脱落注意）

《交差点事故をなくしましょう》

交差点手前で、黄色信号の場合は、加速しないで停止する

漫然運転、居眠りに注意しましょう **2時間走行15分休憩！**

《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

大型トレーラーがバックしようとして脱輪 横転し、道路をふさぐ 千歳市

◇バックする時は必ず、『後ろの安全確認』を確実に行いましょう◇

◇トラックは、『後ろの死角』が多い◇

◇『面倒な気持ち』をコントロールして◇

◇バックする前には、いったん車を降りて、『後ろの安全を確認』してから、バックしましょう◇

2025/10/16(木) 11:52

16日午前7時ごろ、千歳市東丘の牧場の前にある市道で、「トレーラーが単独事故を起こした」と、運転していた女性から消防に通報がありました。警察によりますと、トレーラーはバックで農場に入ろうとしたところ、脱輪して横転したと見られ、引き上げ作業が続いており、道路は通行止めとなっています。

路線バスが左側を並走していた 自転車と接触

自転車の男性が転倒しケガ

バスの運転手は、「自転車いる認識あった」

◇歩道・路側帯の自転車、『車道側に出てくるかもしれない』、距離をとりましょう◇

◇左側を走行している自転車（歩行者）をみかけたら、できるだけ間を確保しましょう◇

2025/10/16(木) 12:11

16日午前8時10分頃、愛媛県の国道で路線バスが左側を並走していた自転車と接触しました。自転車の男性（65）が転倒して腰の痛みを訴え病院に運ばれました。軽いケガということです。当時の乗客7人にケガはありませんでした。路線バスの運転手の男性（53）は「自転車がいる認識はあった」と話しています。

根室 重さ1トン近くあるコンクリート塀の下敷きに 60代男性、死亡確認 住宅の解体作業中

◇作業前は、『事前打合せ』◇

◇作業中は、『周囲の安全』を確認しましょう◇

◇慣れてきた時ほど慎重に！ 慣れてきた時ほど、流れ作業におちいりやすくなります◇

◇動いている機械には近付かない◇

2025/10/16(木) 14:50

16日午前10時ごろ、根室市の住宅で近所の人から「家の門の前で男性が倒れている」と警察に通報がありました。住宅の解体作業を行っていた60代の男性が、コンクリート塀の下敷きになったということです。男性は心肺停止の状態と病院に搬送され、その後死亡が確認されました。警察によりますと当時、男性と一緒に工事をしていた別の作業員が機械でコンクリート塀を解体していたところ、男性が倒れたコンクリート塀の下敷きになったということです。コンクリート塀は、高さ1メートル20～30センチ程度で、幅3～5メートル程度、厚さ20～30センチ程度、重さは数百キロから1トン近くあったとみられています。